

官報

號外 昭和十二年九月八日

○第七十二回 衆議院議事速記録第四號

昭和十二年九月七日(火曜日)

午後一時五十九分開議

議事日程 第三號

昭和十二年九月七日

午後一時開議

一入營者職業保障法中改正法律案

(西尾末廣君外四名提出) 第一讀會

〔左ノ報告ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノ爲

茲ニ掲載ス〕

一議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

入營者職業保障法中改正法律案

提出者

西尾 末廣君 川村保太郎君 河野 審君

永江 一夫君 沢沼稻次郎君

陸海軍兵士家族ニ對スル給與制度確立ニ

關スル建議案

提出者 松方幸次郎君

軍事扶助法施行範圍ノ擴大並扶助料等増額ニ關スル建議案

提出者 松本治一郎君

新田義貞公六百年祭記念切手發行ニ關スル建議案

提出者 松本治一郎君

山崎 鍋二君 前川 正一君

佐竹 瞬記君 戰時體制下ノ農業生産力擴大ニ關スル建議案

提出者 前川 正一君

川俣 清音君 三宅 正一君

(以上九月六日提出)

戰時體制下ニ於ケル産業平和促進ニ關スル建議案

提出者 鈴木 文治君

河野 密君 西尾 滿亮君

岡崎 憲君 末廣君

兵役義務負擔ノ均衡ニ關スル建議案

提出者 中原 謹司君

小山 亮君

今井 新造君

國旗布地ニ絹布使用ニ關スル建議案

提出者 増田 義一君

木檜三四郎君 岡田 忠彦君

鈴木 英雄君

新田義貞公及一族郎黨ノ勤王事蹟ニ付國定教科書增補ニ關スル建議案

提出者 增田 義一君

森下 國雄君 片岡 恒一君

中田 儀直君 行吉 角治君

玉野 知義君

臨時馬ノ移動制限ニ關スル法律案(政府提出、貴族院送付)委員

委員長 板野 友造君

理事

熊谷五右衛門君 百瀬 渡君

三善 信房君 川崎末五郎君

坪山 德彌君 服部 岩吉君

大石 倫治君 田子 一民君

森田重次郎君

(以上九月六日提出)

一昨六日議員ヨリ提出セラレタル質問主意書
書左ノ如シ

戰時農村對策ニ關スル質問主意書

提出者

稻田 直道君 松浦 伊平君

高橋圓三郎君 曾和 義式君

馬岡 次郎君 小見山七十五郎君

臨時負債支拂猶豫法制定ニ關スル質問主意書

提出者 松本治一郎君

軍事労働者ノ待遇ニ關スル質問主意書

提出者 松本治一郎君

尾去澤慘禍其ノ後ノ經過ニ關スル質問主意書

提出者 松本治一郎君

昭和十二年水害耕地關係被害復舊事業ニ關スル建議案

提出者 增田 義一君

小川郷太郎君

木檜三四郎君

鈴木 英雄君

新田義貞公六百年祭記念切手發行ニ關スル建議案

提出者 增田 義一君

森下 國雄君

中田 儀直君

玉野 知義君

臨時馬ノ移動制限ニ關スル法律案(政府提出、貴族院送付)委員

委員長 坂東幸太郎君

理事

熊谷五右衛門君 百瀬 渡君

三善 信房君 川崎末五郎君

坪山 德彌君 服部 岩吉君

大石 倫治君 田子 一民君

森田重次郎君

○議長(小山松壽君) 是ヨリ會議ヲ開キマス、此際御報告ヲ申上ゲルコトガアリマス、一昨五日ノ本院ノ決議ニ對シ、海軍大

明治二十五年三月三十日
第三種郵便物認可

臣ヨリ聯合艦隊司令長官並ニ第三艦隊司令長官ノ謝電、及び陸軍次官ヨリ關東軍司令官、在北支軍司令官ノ謝電ヲ傳達セラレマ

シタ、茲ニ之ヲ朗讀致シマス

聯合艦隊ノ將兵ハ協心戮力一層奮勵シテ其ノ大任ヲ完ウセムコトヲ期ス茲ニ將兵シニ堪ヘズ

衆議院ノ御懇切ナル決議ニ對シ感激ノ至

一同ヲ代表シ深甚ナル謝意ヲ表ス

聯合艦隊司令長官

〔拍手起ル〕

茲ニ衆議院ノ議事ニ依ル熱誠且懇篤ナル

能ハズ

艦隊ノ將兵一同士氣益旺盛一層奮勵シテ速ニ戰果ヲ完ウシ聖慮ヲ安ンジ奉リ國

民ノ信賴ニ副ハシコトヲ期ス茲ニ一同ヲ

代表シ深厚ナル謝意ヲ表ス

〔拍手起ル〕

茲ニ衆議院ノ議事ニ依ル熱誠且懇篤ナル

能ハズ

艦隊ノ將兵一同士氣益旺盛一層奮勵シテ速ニ戰果ヲ完ウシ聖慮ヲ安ンジ奉リ國

民ノ信賴ニ副ハシコトヲ期ス茲ニ一同ヲ

上聖慮ヲ安ンシ奉リ下國民ノ信倚ニ副ハシコトヲ期ス

第三艦隊司令長官

〔拍手起ル〕

義ニ衆議院ヨリ傳ヘラレタル今次事變ノ

爲出動セル陸軍將兵ニ對シ寄セラレタル

深厚ナル感謝決議ニ接シ一同感謝感激ノ

至リニ堪ヘス時局ノ前途尙遼遠ナリ吾等

一同益々奮闘

御稟威ノ下ニ一意任務ノ達成ニ向ヒ邁進

シ決議ノ趣意ニ副フニ遺憾ナカラシコトヲ期ス

茲ニ北支方面ニアル陸軍將兵一同ヲ代表シテ深甚ナル謝意ヲ表スルト共ニ今後一層ノ御後援ヲ祈ル

〔拍手起ル〕 在北支軍司令官

○中山福藏君

議事日程變更ノ緊急動議ヲ提出致シマス、即チ此際第一號、昭和十二

年度歲入歲出總豫算追加案、特第一號、昭和十二年度各特別會計歲入歲出總豫算追加案、臨時軍事費豫算案ノ三案ヲ括議題ト

爲シ、委員長ノ報告ヲ求メ、其審議ヲ進メラレンコトヲ望ミマス

○議長(小山松壽君) 中山君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔「異議ナシ」と呼フ者アリ〕 ○議長(小山松壽君) 御異議ナシト認メマス、仍テ日程ハ變更セラレマシタ、第一號、昭和十二年度歲入歲出總豫算追加案、特第一號、昭和十二年度各特別會計歲入歲出豫算追加案、臨時軍事費豫算案、右三案ヲ括シテ議題ト致シマス、豫算委員長ノ報告ヲ求メマス——勝正憲君

(第一號)昭和十二年度歲入歲出總豫算追加案

(特第一號)昭和十二年度各特別會計歲入歲出豫算追加案
臨時軍事費豫算案

右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也
昭和十二年九月七日
豫算委員長 小山松壽殿 正憲

衆議院議長 小山松壽殿 正憲

報告書

臨時軍事費豫算案

右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也
昭和十二年九月七日

豫算委員長 勝 正憲

大臣ノ言明ヲ得タノデアリマス

一號ハ、歲入ガ六百六十餘万圓、歲出ガ四千二百六十萬圓デアリマシテ、差引歲入不足額三千五百九十九餘万圓ト相成テ居リ

マス、此歲入不足額ニ對シマシテハ、政府

ハ本年度豫算ノ實行上ニ於ケル歲出不用額ヲ以テ之ニ充當スル計畫デアルト申シテ居リマス、此不用額ト申シマスルノハ、出征

シタル師團ノ内地ニ於ケル費用ガ不用トナック

モノガアリマスガ、是ガ主ナルモノデアル

ノデアリマス、此歲出豫算ニ計上セラレテ居リマス主要ナル費用ハ、北支事件費ノ増

加トシテ、外交上必要ナル經費九百十餘万

圓、軍事扶助費ノ増加一千五百万圓、軍人

援護事業ノ充實ニ要スル經費百万圓、防空

法施行ニ伴ヒ要スル經費八十餘万圓、國民

精神總動員ニ要スル經費七十萬圓、國債整

理基金特別會計ヘ繰入ノ增加六百十餘万

圓豫備費デアリマシテ、日支間ノ事件ニ關スル經費ト致シマシテハ、曩ニ第七十一議會ニ於キマシテ其協賛ヲ經タ次第アリマスガ、其後ノ事態ノ擴大ニ伴ヒ、更ニ之ニ要スル經費ノ増加ヲ必要トスルニ致ツクノデアリマス

次ニ昭和十二年度各特別會計歲入歲出豫

算追加特第一號ハ印刷局、國債整理基金、

公債金、關東局、陸軍造兵廠、海軍火藥廠、

帝國大學、朝鮮總督府、臺灣總督府並ニ樺

太廳等ノ各特別會計ニ關スルモノデアリマ

シテ、何レモ時局ニ關シ必要ナル經費ヲ計

ニ屬シ、説明スルコトガ出來ナイト云フコトデアリマシタ、併シ此豫算ノ支出ニ當リマシテハ、先例ニ順ヒマシテ豫備費ハ勿論、其他ノ經費モ一々閣議ノ決定ヲ經テ、勅裁ヲ仰イデ之ヲ實行スル見込デアルトノ大藏大臣ノ言明ヲ得タノデアリマス

次ニ昭和十二年度歲入歲出豫算追加案、特第一號ハ、先例ニ順ヒマシテ豫備費ハ勿論、其他ノ經費モ一々閣議ノ決定ヲ經テ、勅裁ヲ仰イデ之ヲ實行スル見込デアルトノ大藏大臣ノ言明ヲ得タノデアリマス

マシテハ、御承知ノ通リ陸軍臨時軍事費、

海軍臨時軍事費及ビ豫備費ト云フ三本ノ項

ニ分レテ居リマシテ、目節ノ内譯ガナインノデア

リマス、此各目別ノ内譯ガナインノデア

ニ求メマシタケレドモ、是ハ軍事上ノ機密

ニ屬シ、説明スルコトガ出來ナイト云フコト

トデアリマシタ、以上ハ只今上程セラレテ居リマス所ノ豫

算案ノ大要デゴザイマス、豫算委員會ハ昨

日午前九時ヨリ開會致シマシテ、劈頭ニ於

テ大藏大臣ヨリ豫算案ノ內容ニ付テ説明ガ

アリ、之ニ引續キマシテ關係各國務大臣ヨリソレノ、説明ガアリマシタ後質問ニ入ッタ

ノデアリマス、其中豫算ノ審査上極メテ直接ノ關係アル重要ナル四五ノ質疑應答ヲ御説明申上ゲマス

其第一ノ點ハ、目下提出セラレテ居ル臨時軍事費二十億二千餘万圓ハ、是ハ今後何箇月間ノ戰費ヲ支辨スル見積リデアルカト云フ質問デアリマス、之ニ對シマシテハ、明確ニ何箇月分ノ經費ヲ計上シテアルト云フコトハ、軍事ノ機密上言明ガ致シ兼ネルト云フコトデアリマシタ、但シ現下ノ情勢ニ對シテ非常ナル變化ヲ見ザル限りニ於テハ、目下ノ所通常議會マデニ重ネテ臨時議會ヲ開イテ經費ノ追加ヲ求メルト云フヤウナコトハナイト思フト云フ、陸軍大臣ノ答辯ヲ得タノデアリマス

第二ノ點ハ、此巨額ナル豫算ノ實施ニ付テハ、財界ガ健全デアルコトヲ必要トスル、財界ヲ安心サセル爲ニハ、豫算ノ内容ヲ能ク分ラセナケレバナラナイ、一體二十億圓ト云フヤウナ豫算ガ求ムル所ノ物資ノ中デ、外國カラ輸入シナケレバナラナイ部分ハドノ位アルノデアルカ、又軍事費ニ付テハ物ノ豫算ガドレ程アルノデアルカト云フ質問ニ對シマシテハ、物ニ付テハ大部分ハ國內デ購入スルコトガ出來ルモノデナイト、海外カラ輸入ヲ仰ガナケレバナラナイモノハ其一小部分デアル、軍事豫算ニ付物資ノ種類、數量等ハ、兵力推定ノ資

料ニナリマスカラ、詳シキ答辯ハ差控ヘタ
軍需關係ノ生産設備擴充ノ必要ヲ生ジテ參
イト云フコトデアッタノデアリマス
第三點ハ、軍事費ノ膨脹ニ伴ヒマシテ、
軍需關係ノ生産設備擴充ノ必要ヲ生ジテ參
ル、此生産擴充ニ要スル資金ヲ何處ニ求メ
ントスルノデアルカト云フ質問ニ對シマシ
テハ、二十億圓ノ軍事費ハ日銀引受ノ公債
デ賄フコトトナツテ居ル、デアルカラ相當
巨額ノ資金ガ市中ニ散布セラル、カラ、生
産擴充ノ資金ノ需要ト云フモノハ、此資金
カラ取入レルコトニナルデアラウ、併シ是
ハ少シ先ノコトデアリマシテ、當面ノコト
ト致シマシテハ、先ノ見透シガ付カナイ爲
ニ、金融ヲ手控ヘラスル傾向ガアリマスノ
デ、只今デハ却テ金融梗塞ノ状態ニアル、
之ニ對シマシテハ日銀ガ公債ノ買出動ヲヤ
ルトカ、色々金融梗塞緩和ノ手段ヲ講ズル
等、有ユル方法デ資金ノ潤澤ヲ圖ッテ居ル
ト云フ政府ノ答辯デアッタノデアリマス
第四ノ點ハ、軍事費支辨ノ爲ニ巨額ノ公
債ガ發行セラレテ、之ヲ日銀デ引受ケシム
結果トシテ、異常ナル通貨膨脹ヲ見テ、
異常ナル物價ノ暴騰トカ、或ハ悪性「イン
フレーション」ヲ惹起スル虞ハナイカト云
フ質問ニ對シマシテハ、通貨膨脹ニ對シマ
シテハ、適宜資金吸收ノ方策ヲ樹テマシ
テ、之ヲ調整スル考デアルト云フ趣旨ノ答
辯ガアリマシタ

第五ノ點ハ、應召軍人ノ家族又ハ遺族ノ
保護ニ關シテ、政府ハ如何ナル措置ヲ執リ
ハ軍事扶助法及ビ軍人援護資金ノ勧ト民間
諸團體ノ協力トニ依リ周到ナル保護ヲ爲ス
見込デアル、現ニ追加豫算中ニモ一千五百
万圓ノ軍事扶助費ヲ追加計上シテアル、尙
スカラ、不足ヲ生ジタ時ニハ豫備費カラ十
分ニ補足スル見込デアルト云フ答辯デアリ
テハ、二十億圓ノ軍事費ハ日銀引受ノ公債
デ賄フコトトナツテ居ル、デアルカラ相當
云フヤウナ人々ニ對シマシテ、之ヲ救濟ス
ル爲ニ、此外ニ軍人援護事業ノ充實ニ要ス
ル經費ト云フ費目ヲ以テ、百万圓ノ追加豫
算方計上シテアルト云フ答辯デアリマシ
タ、以上ノ外尙ホ極メテ適切ニシテ重要ナ
ル多數ノ質疑應答ガアリマシタガ、是ハ割
愛致シマシテ、是等ハ速記録ニ就テ一讀セ
ラレンコトヲ希望致シマス次第デアリマス
委員會ハ昨夜深更質疑ヲ終了致シマシ
タ、今回モ先例ニ依リマシテ分科會ニ移サ
ズシテ審議ヲ進メマシテ、本日午後一時半
討論ニ入りマシテ、此討論ニ際シマシテハ
立憲民政黨ヲ代表シテ木檜三四郎君、立憲政
友會ヲ代表シテ砂田重政君、第一議員俱樂
部ヲ代表シテ森繁君、社會大衆黨ヲ代表シ
テ西尾末廣君、第二控室ヲ代表シテ田川大
吉郎君、東方會ヲ代表シテ田中養達君ヨリ
各贊成ノ旨ノ發言ガアリマシタ、採決ノ結
果三案共全會一致ヲ以テ原案ノ通リ可決致
シマシタ
〔拍手起立〕

○議長（小山松壽君）採決致シマス、三案
ヲ括シテ委員長報告ノ通リ決スルニ賛成
ノ諸君ノ起立ヲ求メマス
〔拍手〕

○議長（小山松壽君）起立總員（拍手）仍テ
三案トモ委員長報告ノ通リ全會一致可決確
定致シマシタ

〔總員起立〕

○議長（小山松壽君）議事日程變更ノ緊急動議ヲ
提出致シマス、即チ此際政府提出、米穀ノ
應急措置ニ關スル法律案及ビ臨時肥料配給
統制法案ノ兩案ヲ一括議題ト爲シ、委員長
ノ報告ヲ求メ、其審議ヲ進メラレンコトヲ
望ミマス

○議長（小山松壽君）中山君ノ動議ニ御異
議アリマセヌカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕

本委員會ヲ通ジマシテ、大體ノ空氣ハ北
支事件ガ進展シテ、愈、全面的ノ大衝突ト
ナックル今日ニ於キマシテハ、吾々ハ飽マ
デ聖旨ヲ奉體シテ一路邁進、南京政府ヲシ
一政府ハ本法ニ依ル米穀ノ買上ヲ力メ
テ多量ニシテ時局ニ對スル措置ニ付遺
憾ナキヲ期スヘシ
一政府ハ應召軍人ノ遺家族ニ對スル拂
下米ノ手續ヲ簡易ニシ價格ヲ低廉ナラ
シムルヤウ措置スヘシ
一臨時肥料配給統制法案（政府提出）
右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致
候此段及報告候也
昭和十二年九月七日

○議長（小山松壽君）中山君ノ動議ニ御異
議アリマセヌカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長（小山松壽君）御異議ナシト認メマ
ス、仍テ日程ハ變更セラレマシタ——米穀
ノ應急措置ニ關スル法律案、臨時肥料配給
統制法案、右兩案ヲ一括シテ第一讀會ノ續
行（開キマス、委員長ノ報告ヲ求メマス）
尚ホ今回ノ臨時議會ハ極メテ短期ノ議會
提出） 第一讀會ノ續（委員長報告）
臨時肥料配給統制法案（政府提出）
第一讀會ノ續（委員長報告）

報告書
米穀ノ應急措置ニ關スル法律案（政府
提出） 第一讀會ノ續（委員長報告）
委員長高橋熊次郎君
昭和十二年九月七日

衆議院議長小山松壽殿
委員長 高橋熊次郎
附帶決議
一政府ハ本法ニ依ル米穀ノ買上ヲ力メ
テ多量ニシテ時局ニ對スル措置ニ付遺
憾ナキヲ期スヘシ
一政府ハ應召軍人ノ遺家族ニ對スル拂
下米ノ手續ヲ簡易ニシ價格ヲ低廉ナラ
シムルヤウ措置スヘシ
一臨時肥料配給統制法案（政府提出）
右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致
候此段及報告候也
昭和十二年九月七日

○議長（小山松壽君） 中山君ノ動議ニ御異
議アリマセヌカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長（小山松壽君） 御異議ナシト認メマ
ス、仍テ日程ハ變更セラレマシタ——米穀
ノ應急措置ニ關スル法律案、臨時肥料配給
統制法案、右兩案ヲ一括シテ第一讀會ノ續
行（開キマス、委員長ノ報告ヲ求メマス）
尚ホ今回ノ臨時議會ハ極メテ短期ノ議會
提出） 第一讀會ノ續（委員長報告）
臨時肥料配給統制法案（政府提出）
第一讀會ノ續（委員長報告）

報告書
米穀ノ應急措置ニ關スル法律案（政府
提出） 第一讀會ノ續（委員長報告）
委員長高橋熊次郎君
昭和十二年九月七日

衆議院議長小山松壽殿
委員長 高橋熊次郎
附帶決議
本法ノ施行ト共ニ政府ハ左ノ事項ヲ實施
スヘシ
一政府ハ速ニ疏安ノ國內增產ノ措置ヲ講
一政府ハ速ニ疏安ノ國內增產ノ措置ヲ講

シ力メテ其ノ自給自足ヲ計ルヘシ

一 政府ハ公定價格ト消費者ノ購買價格
トノ差額ヲ力メテ僅少ナラシムルヤウ

措置スヘシ

一 政府ハ此ノ際自給肥料ノ増産計畫ヲ
樹立シ之カ徹底的獎勵ヲ爲スヘシ

〔高橋熊次郎君登壇〕

○高橋熊次郎君 只今ヨリ米穀ノ應急措置
ニ關スル法律案外一件ノ特別委員會ニ於ケ
ル審議ノ經過竝ニ結果ニ付テ御報告申上ゲ
マス

先づ米穀ノ應急措置ニ關スル法律案ニ付
テ御報告申上ゲタイト存ジマスガ、本法律
案ハ今回ノ支那事變ニ關聯シテ、臨時應急
ノ措置ヲ講ゼントスルモノニアリマシテ、
其第一ノ要點ハ、今回ノ支那事變ノ爲メ、必
要トスル軍用米ノ數量ハ相當額ニ上ルモノ
ト推察セラレマスルガ、之ヲ必要ニ應ジテ
其都度民間市場ヨリ買入レマスコトハ、米
穀ノ市價ニ對シテ面白カラザル影響ヲ及ボ
ス虞アルノミナラズ、軍用米ノ調達ヨリ申
シテモ、遺憾ノ點ガ尠クナインオデ、米穀需
給調節特別會計ニ屬スル米穀ヲ賣渡シ、軍
ノ需要ニ充テ得ルノ途ヲ開クコトアリマ
ス、其第二ノ要點ハ、政府ガ今後軍用米ノ
供給ヲ致シマスニハ、是ガ補給ノ途ヲ講ズ
ル必要ガアルノミナラズ、今回ノ事變ニ關聯
致シマシテ、米穀需給調節特別會計ニ屬ス
ル米穀モ、此際一層之ヲ充實シ置クノ必要
ガアリマスノデ、是ガ爲メ政府ハ特ニ必要
アリト認ムル場合ニハ、一定ノ條件ノ下ニ米
穀ノ買入ヲ爲シ得ルノ途ヲ開クコトアリマ
ス、而シテ委員會ニ於テ本法律案ニ關シ行ハ
レマシク質疑應答ハ多數ニ上ルノデアリマス
ガ、其主ナルモノニ三ヲ御紹介ニ及ビマス

ノ中成ベク價格ノ低廉ナルモノヲ選擇シ
テ、優先的ニ拂下ヲ爲シ、且ツ其鐵道運賃

モ五割引ニ減額スルコトシテ、出來得ル

シテ保有スルコトヲ要スルモノト認ムル
テハ政府ノ保有スペキ數量ハ、相當多量

用意シ置ク必要アルモノト認メラル、ガ

如何ト云フ質問ガアリマシタガ、之ニ對シ
テハ軍用米トシテ供給スルモノノ補給上用

意スベキ數量ハ、今後事變ノ推移ニモ關聯
スルヲ以テ、之ヲ豫定スルコトハ困難デア
ルガ、右ノ外ニ米穀ノ調節上、政府ガ保有

スルコトヲ要スルモノト認メラル、數量
ハ、大約六百万石見當ニ豫定シ居リマス
ガ、今回ノ如キ事變ニ際シテハ、右ノ保有
量モ若干增加ヲ必要トスルヤニモ認メラル
ルヲ以テ、此數量ニハ或爾程度ノ彈力性ガ
アルモノト諒承セラレタイ旨ノ答辯ガアリ
マシタ、第二ニハ、本法ニ依ル米穀買入ノ時
期ハ、出廻期ニ於テ之ヲ行フコトガ、米穀
生産者等ニ取ツテ最モ適切ナリト認メラル
ガ、政府ノ所見如何ト云フ質問ガアリマ
シタ、之ニ對シテハ政府モ大體其通リニ考
ヘテ居ル旨ノ答辯ガアリマシタ、第三ニハ、
法案第二條第一項ノ一定割合ハ何程ナリヤ
ト云フ質問ガアリマシタ、「標準最高價格
ノ一定割合ニ相當スル價格以下ナル場合ニ
限リ買入ヲ行フコトヲ得」是デアリマスガ、
アリマシタ、第四ニハ、今回ノ事變ニ因ル
下値一割程度ニ定メタイ見込ナル旨答辯ガ
求デアリマス、政府ハ大體標準最高價格ノ
緊要デアルト云フ趣旨カラ致シマシテ、政
府ハ販賣肥料中最モ重要デアリマスル硫酸
「アンモニア」ニ關シテ、當業者ヲシテ一ツ
ノ機關ヲ組織セシメマシテ、之ニ依リ其配
給統制ヲ行ハシメ、以テ需給ノ圓滑及ビ價
格ノ公正ヲ確保致サウト云フノガ第一點デ
アリマス、而シテ其他ノ肥料、即チ過磷酸
石灰、石灰窒素等ニ付キマシテモ、更ニ時
局ノ進展ニ伴ヒ、肥料事情ノ變化ニ對應シ
テ、政府ニ於テ機宜ノ措置ヲ爲シ得ルノ途

ヲ開イテ置カウト云フノガ第一點デアリマ
ス

委員諸君ヨリハ種々御熱心ナル質疑ガア
リ、政府ニ於カレテモ懇切ナル答辯ガアッ
タノデアリマスガ、其中主ナル二三ヲ御紹

介ニ及ビマス、第一ニ疏安問題ハ國內生產
鑑ミ、速ニ米穀配給ノ新機構ヲ樹立スル
ノ必要アリト思フガ、政府ハ來ルベキ通

常議會ニ之ヲ提案スルノ意思アリヤト云
フ質問ガアリマシタガ、之ニ對シテハ政
府ハ右ノ問題ニ關シテハ、特ニ調查委員
會ヲ設ケ、其調查審議ヲ爲サシムルコト
ト致シテ居ルカラシテ、其審議ノ結果ニ
俟タネバナラナイガ、來ルベキ通常議會
ニ之ヲ提案シ得ルヤ否ヤハ、今日明言シ
難キ旨ノ答辯ガアリマシタ、米穀ノ應急措
置ニ關スル法律案ニ付テノ質疑應答ノ主ナ
ルモノハ只今申述べタノデアリマスガ、非
常ニ熱心ナル質疑應答ガアリマシタ、要ハ
委員會ノ速記録ヲ御覽願ヒタイト思フノデ
アリマス

續イテ臨時肥料配給統制案ノ骨子ヲ申
上ゲマスレバ、現下ノ時局ニ鑑ミマシテ、特ニ
銑後ニ於ケル農村經濟ノ安定ヲ期シ、農業
生産ノ確保ヲ圖リマス爲ニハ、肥料問題ニ
付テ適切ナル施設ヲ講ジマスコトガ、特ニ
ナル調査ヲ致シテ居ルカドウカ、又新ニ設
ケラル、統制機關ハ公益的性質ノ團體トシ
テ、其組織ガ適正デアルコトヲ要スルガ、
イ、政府ハ之ニ關シテ生産費等ニ對シ嚴重
ナルコトガ第一要件デアラネバナラナ
リ、新ニ設置サル、機關ニ依ッテ
配給統制ヲ行フニ當リマシテモ、重要肥料
業統制法ニ依ル公定價格ノ決定方公正妥當
デアルコトガ第一要件デアラネバナラ
ニ、政府ハ之ニ關シテ生産費等ニ對シ嚴重
ナル調査ヲ致シテ居ルカドウカ、又新ニ設
ケラル、統制機關ハ公益的性質ノ團體トシ
テ、其組織ガ適正デアルコトヲ要スルガ、
政府ハ如何ナルモノヲ以テ組織セシムル考
デアルカ、更ニ消費者ニ渡ル時ノ價格ノ公
正ヲ圖ル爲ニハ、間屋業者等統制機關以後
ノ配給過程ヲ合理化シ、其統制ヲ行フノデ
ナケレバ十分目的ヲ達シ難イト思フガ、政
府ハ如何ニ考ヘテ居ルカトノ質問ガゴザイ
マシタ、之ニ對シテハ公定價格ノ決定ニ

付テハ、生産費ニ付キ十分調査ヲ遂ゲ、之ヲ基準トシテ經濟事情其他ヲ參照シテ之ヲ決定シテ居ル、次ニ統制機關ノ組織ニ付テ、製造業者トカ大手筋ノ配給業者ヲ以テ組織セシムルコトトシ、又一面全購聯モ之ニ參加セシムル豫定デアルガ、業者ノ意向モ尊重シテ、適當ナル組織ヲ作リタクト考ヘテ居ル、更ニ此機關ヨリ消費者ノ手ニ渡ルマデノ配給過程ニ付テハ、統制機關ヲシステム制アル販賣ヲ爲サシムルコトニ依ッテ、自然ソレ以下ノ配給業者ノ配給モ合理化サレルコト思フシ、漸次改善ノ歩ヲ進メタル思フト云フ答辯ガアリマシタ

第三ニ硫安輸入補償ニ付テハ、本豫算ヲ以テシテ十分必要量ノ輸入ガ出來得ル見込ガアルカドウカ、又此際種々ノ肥料資源ヲ十分利用スルコト等ニ依ッテ、肥料ノ供給ニ不足ヲ來サシメナイト云フコトガ必要ナルガ、政府ハ之ニ對シテ如何ナル見込ヲ持ツテ居ルカトノ質問ガゴザイマシタ、之ニ對シテ現在ノ事情ノ下ニ於テハ、硫安ハ本豫算ニ依リ必要量ノ輸入ヲ爲スコトガ出来ルト考ヘラレルノデ、其需給關係ニ別段ノ支障ヲ生ゼザル見込デアル、其他肥料ノ增加ニ付テハ、現ニ自給肥料ノ獎勵ニ力ヲ注イデ居ルシ、石灰窯素ノ如キ寧ロ供給過剩ノ實情ニアルモノニ付キマシテハ其使用ヲ極力獎メル、未ダ我國ノ農家ガ石灰窯素ノ使用ニ對シテ危險視致シテ居ル部分ガアリマスカラ、極力是ガ獎勵ヲ致シテ、適宜ノ方策ヲ講ジテ、肥料ニ不足ヲ來サシメヤウ十分留意スル積リデアルト云フ旨ノ御答辯デアリマシタ

第四ニ本法ニ依リ配給統制ヲ必要ト認ム

ル肥料ハ差當リ硫安デアルガ、過磷酸等ニ所過磷酸ニ對シ硫安同様ノ制度ヲ設クル意思ヘナイガ、事態ノ推移如何ニ依ッテハ必需要ニ應ジテ之ヲ適用セシメルコトトシタイ旨ノ御答辯ガアリマシタ

第五ニ本法案ハ臨時立法トシテ提出セラレテハ居ルガ、事變終了後モ此制度ヲ恒久化シ、體系的ニ機構ヲ整ヘテ置クコトガ、現下ノ肥料事情カラ見テ必要ト思フガ、事變終了後ニ於ケル本法案ノ處置ハドウスルカトノ質問ガアリマシタ、之ニ對シマシテ本法案ハ事變ニ際シ特ニ緊急ト認メタ次第デアルガ、其内容ノ中ニハ平時ニ於テモ恒久的施設トシテ實施ノ必要アル部分モアルノデ、是ガ事變終了後ノ繼續方法ニ付テモ適當考ヘタトイ思ツテ居ルト云フ御答辯ガアリマシタ

尙ホ本法案ノ第一條第二項ノ配給統制機関ニ對スル監督其他ノ事項ヲ勅令ニ委ネテスヘン

一 政府ハ速ニ硫安ノ國內増産ノ措置ヲ講シ力メテ其ノ自給自足ヲ計ルヘシ

一 政府ハ公定價格ト消費者ノ購買價格ノ差額ヲ力メテ僅少ナラシムルヤウ措置スヘシ

一 政府ハ此ノ際自給肥料ノ増産計畫ヲ樹立シ之カ徹底的獎勵ヲ爲スヘシ

斯ク致シマシテ第一議員俱樂部ヲ代表シ永山君、社會大眾黨ヲ代表シテ三宅君、第二控室ヲ代表シテ田中君、東方會ヲ代表シテ小野君ヨリ、代ルノ熱心ナル委員諸君ノ質疑ヲ大體終了シ、今朝ニ瓦ツテ更ニ

少クトモ一千万石以上ニ增量スルコトシメ出廻期ノ米價低落ヲ阻止スル爲ニ簡易化スルヤウニ法令ヲ改メ以テ非常時ニ於ケル民本ヲ培養スベシ

三 政府ハ本法ニ依ル買上並ニ拂下方法ヲ開クベシ

四 應召兵士家族ニ對シテ無償拂下ノ途スルコト

三 政府ハ本法ニ依ル買上並ニ拂下方法ニ開スルモノデアリマス、

以上ガ米穀法案ニ關スルモノノ希望條項

一 肥料配給ノ圓滑ヲ期スル爲ニ政府ハ毎肥料年度ノ農家ノ肥料實需ニ應ジテ各肥料ノ配給ヲ爲スヤウニ肥料配給統制ノ完全ヲ期セシムベシ

二 肥料販賣ニ際シテハ政府ハ農家賣渡値(肥料小賣價格)ノ公定ヲ爲サシムベシ

以上テアリマス

三 政府ハ次期議會ニハ肥料ノ軍需的要求ヲ充タン更ニ農家ヘ豊富且ツ低廉ナル肥料ヲ供給セシムル爲ニ肥料國營會社案ヲ提出スベシ

斯ク致シマシテ委員會ニ於キマシテハ、全會一致以上兩法案ヲ右附帶決議ヲ附シテ原案通り可決致スベキモノト議決致シタノデアリマス、時局重大ノ際、特ニ農村ノ体感ニ關スル二大法案デアリマス、ドウカ委員會決議ノ通り萬場一致ヲ以テ可決セラレントヲ希望致シマシテ、委員長ノ御報告ヲ終ル次第アリマス(拍手)

○議長(小山松齋君) 兩案ノ第二讀會ヲ開クニ御異議アリマスカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(小山松壽君) 御異議ナシト認メマス、仍テ兩案ノ第二讀會ヲ開クニ決シマシタ

○中山福藏君 直チニ兩案ノ第二讀會ヲ開キ、第三讀會ヲ省略シテ、委員長報告ノ通り可決セラレンコトヲ望ミマス

○議長(小山松壽君) 中山君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(小山松壽君) 御異議ナシト認メマス、仍テ直チニ兩案ノ第二讀會ヲ開キ、議案全部ヲ議題ト致シマス

米穀ノ應急措置ニ關スル法律案

第二讀會(確定議)

○議長(小山松壽君) 別ニ御發議モアリマス、第三讀會ヲ省略シテ、兩案トモ委員長報告リ可決確定致シマシタ

(拍手起立)

○議長(小山松壽君) 委員會ニ於テ審査中ノ議案ノ報告ヲ待ツ爲メ、此際暫時休憩致シマス

午後二時四十三分休憩

午後四時九分開議

○議長(小山松壽君) 休憩前ニ引續キ會議

○議長(小山松壽君) 休憩前ニ引續キ會議ヲ開キマス、只今貴族院ニ於テ豫算委員會開會中アリマスカラ、内閣總理大臣、大藏大臣ハ同豫算委員會ニ出席申デアリマス、左様御承知ヲ乞ヒ置キマス

○中山福藏君 議事日程變更ノ緊急動議ヲ提出致シマス、即チ此際政府提出、輸出入品等ニ關スル臨時措置ニ關スル法律案ヲ議

題ト爲シ、委員長ノ報告ヲ求メ、其審議ヲ進メラレンコトヲ望ミマス

○議長(小山松壽君) 中山君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(小山松壽君) 御異議ナシト認メマス、仍テ日程ハ變更セラレマシタ、輸出入品等ニ關スル臨時措置ニ關スル法律案ノ第一讀會ノ續フ開キマス、委員長ノ報告ヲ求メマス——委員長松村光三君

輸出入品等ニ關スル臨時措置ニ關スル法律案(政府提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

報告書

一輸出入品等ニ關スル臨時措置ニ關スル法律案(政府提出)

右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也

昭和十二年九月七日

委員長 松村 光三

衆議院議長小山松壽殿

〔松村光三君登壇〕

○松村光三君 輸出入品等ニ關スル臨時措置ニ關スル法律案ノ委員會ノ經過竝ニ結果

ヲ御報告申上ゲマス、本案ハ支那事變ニ關聯シ、政府ニ於テ國民ノ經濟ノ運行上必要

ト認ムル場合ニ、或種ノ物品ノ輸出入ヲ制限シ又ハ禁止スル法案デアリマス、本案ニ

對シマシテハ、各派ヲ通ジマシテ十二名ノ質疑者ガアリマシタ、質疑ノ要點ハ專ラ本案第

一條竝ニ第二條ヲ中心トシテ行ハレマシ

テ、新ニ特殊ノ命令ヲ發スル如キ場合ニ於テ

ナガラ戰時中ニ限ラル、特殊ノ產業ニ對シ

マスルニ依ツテ、之ニ關シマシテハ、何等

ノ質疑應答モアリマセヌ、本案其モノノ内容ニ關シマスル重要ナル質疑ハ第一條竝ニ第二條デ、第一條ニ關シマシテハ、豫メ政

府ヨリ本案ノ不要品、不急品、又ハ代用品等ニ付キ詳細ナル說明ガアリマシテ、第一

條ニ依リマシテ、命令ノ定ムル所ニ依ツテ

或種ノ物品ノ輸出入ヲ制限シ又ハ禁止スルモノデアリマスルガ、其命令ニ依ツテ指定スル品種ノコトハ目下考慮中デアル、今日考へラレテ居ル所ノ品種ハ、輸入ニ付テハ

棉花、羊毛、木材等デアリ、輸出ニ付テハ軍需關係竝ニ國民經濟ノ觀點カラ之ヲ見

テ、現在ニ於テ考慮サレテ居ルモノハ鐵ノ規命令ヲ以テ或種ノ物品ノ製造ニ關シ必要

ナル事項ヲ命ズル、又ハ制限ヲ爲スト共

ニ、斯ル種類ノ物品ノ配給、讓渡、使用、消

費ノミナラズ、必要ナル場合ニハ其販賣價格ニ關シテモ法規命令ヲ以テ之ヲ定ムルコ

トガアルト云フ政府ノ答辯ガアリマスル、斯ル廣汎ナル命令竝ニ處分ヲ爲スニ當リ、延

イテ當該關係ノ事業ニ幾多ノ損害ヲ及ボス

コトガアリ得ル、斯ノ如キ損害ニ對シテ國家ハ補償ノ責ニ任ズルヤ否ヤト云フ質問ニ

對シマシテハ、現在ノ所ニ於キマシテハ、

國家ハ補償トカ、損害賠償ノ考ハナイ、併

テ、新ニ特殊ノ命令ヲ發スル如キ場合ニ於テ

ナガラ戰時中ニ限ラル、特殊ノ產業ニ對シ

マスルニ依ツテ、之ニ關シマシテハ、何

政府ハ萬全ノ策ヲ講ジテ、棉花其外明

ニ輸出ノ原料トナル部分ニ對シテハ、出來

得ル限り無制限ニ之ヲ許可スル方針デアル

ト云フコトヲ言明サレテ居リマス、隨テ本

法ハ専ラ國內ノ消費ヲ節約セシムル爲ニ之

ヲ適用スル方針デアルト云フ言明デアリマス、第三ハ爲替管理ノ統制ニ關シマシテ、今日マデ其運用上圓滿ヲ缺イテ居ル、

是等ニ關シ更ニ來年以後ノ爲替ノ取組ニ關シマシテ、各種ノ障碍ガアルヤウデアルト云フ質問ニ對シマシテハ、明年以後ノ爲替取組、殊ニ棉花、羊毛等ニ關シマシテハ、政

府ハ出來得ル限り萬全ノ策ヲ講ズルト云フ答辯デアリマスル

其他各種ノ質疑應答ガアリマシタガ、一々

之ヲ御説明スルコトヲ省略致シマシテ、主ナル簡條ヲ申上ゲマスル、各種ノ産業法規ト、其機關ノ綜合統一ヲ今日缺イテ居ルカラ、出來得ル限り産業統制ト、是ガ實行ノ機關ノ綜合統制ヲ圖ルベシ、尙ホ戰爭ハ長期ニ亘ルモノト覺悟シテ、此長期戰爭ニ對スル根本經濟政策ノ樹立ヲ圖レ、尙ホ殊ニ對支貿易ノ障礙ハ、現在茲ニ將來ニ對スル是ガ根本對策ヲ講ゼヨ、更ニ各種ノ産業労働者ニ幾多ノ問題ガ生ズルガ、是等ノ勞働者ノ職業ノ各種ノ移轉、紹介等ニ付テナル對策ヲ講ゼヨ、輸出入ノ貿易管理ヲスル意思ガナイカ、是ハ現在ノ所輸出入ノ貿易管理ニマデ進ム必要ニシトノ答辯デアリマスル、軍需工業及ビ貿易國營ニ關スル政府ノ所見ヲ質サレマシタ、配當制限、重要產業統制法ノ公益規定ヲ積極的ニ活用スル等ノ問題ニ關シマシテ、幾多ノ質疑應答ガアルマシタガ、其詳細ハ速記録ニ就テ御覽ヲ願ヒマス

最後ニ民政黨ノ西村君カラ輸出入ノ禁止制限ニ關スル事項ノ中デ、軍事上又ヘ財政上機密ニ關スルモノハ固ヨリ已ムヲ得ナイケレドモ、其以外ノ事項ニ關スル重要な事柄ハ、貿易審議會ニ諮問シテ民間事業者ノ意見ヲ徵シ、産業ノ實際ニ即スル行政ヲ行フト云フコトヲ商工大臣ハ述べラレテ居リマス、是ハ重要ナル問題デアルカラ、最後ノ機會ニ於テ大臣ノ明白ナル答辯ヲ求ムルト云フ此質疑ニ對シマシテハ、商工大臣カラ輸出入ノ禁止制限ニ關スル事項ノ中ニハ、軍事上又ヘ財政上ノ機密ニ屬スル事項モアリマスカラ之ヲ除イテ、他ノ事項ニ付テハ、重要ナル事項ハ貿易審議會ニ諮問シテ、民間業者ノ意見ヲ徵シ、産業ノ實際ニ

即シタル行政ヲ行フ考デアリマスト答ヘラレテ居リマス、政友會ノ崎山君カラ、日支

事變終了ト云フ意味ハ、ドウ云フ意味デア

ルカラ質サレテ、更ニ本案ハ廣汎ナル立法ス、仍テ直チニ本案ノ第二讀會ヲ開キ議案

全部ヲ議題ト致シマス

○牧山耕藏君登壇
〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

即シタル行政ヲ行フ考デアリマスト答ヘラレテ居リマス、政友會ノ崎山君カラ、日支事變終了ト云フ意味ハ、ドウ云フ意味デアルカラ質サレテ、更ニ本案ハ廣汎ナル立法事項ヲ行政府ニ委任スルノ結果、其影響スル所ノ問題ハ重大デアルカラ、事情ノ許ス

限リ速ニ之ヲ廢止スペシトノ質疑ガアリマシタ、之ニ對シテ商工大臣ハ、茲ニ所謂事變終了トハ、勅裁ヲ仰イデ事變ノ終了ヲ定メマス、如何ナル場合ニ事變終了ノ勅裁ヲ仰グカト云フコトハ、事變ヲ終了セシムル兩國ノ協定ガ成立シテ、用兵ノ事情モ略乎常ノ状態ニ復シタリト認ムル場合ヲ以テ事變終了ト爲ス、而シテ斯ル事變終了ノ場合ニ於キマシテハ、御質疑ノ通リニ、出來得ル限リ速ニ本案ヲ廢止スル趣旨デアルト云フコトヲ明白ニ答ヘラレテ居リマス

次イデ討論ニ移リマシテ民政黨ノ西村金三郎君、政友會ノ田中源三郎君、第一議員但樂部ノ坂本宗太郎君、社會大衆黨ノ松永義雄君、各、各派ヲ代表致シマシテソレバ、賛成意見ヲ述べラレマシテ、採決ニ入リマシテ、滿場一致本案ヲ可決致シマシタ、右御報告申上ダマス（拍手）

○議長（小山松壽君）別ニ御發議モアリマス、第三讀會ヲ省略シテ、委員長報告通り可決確定致シマシタ

○議長（中山福藏君）議事日程變更ノ緊急動議ヲ提出シマス、即チ此際政府提出、臨時船舶管理法案ヲ議題ト爲シ、委員長ノ報告ヲ求メ、其審議ヲ進メラレンコトヲ望ミマス

○議長（中山松壽君）中山君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長（中山松壽君）御異議ナシト認メマス、仍テ日程ハ變更セラレマシタ、臨時船舶管理法案ノ第一讀會ノ續ヲ開キマス、委員長ノ報告ヲ求メマス——委員長牧山耕藏君

○議長（小山松壽君）議事日程變更ノ緊急動議ヲ提出シマス、即チ此際政府ヨリ提案理由ノ説明ガアリマシタガ、ソレニ依リマスレバ、第一ニ支那事變勃發以來激増ニ相當多量ノ船舶ガ微用セラレ、海上ノ交通運輸系統及ビ其輸送量ニモ相當ノ變化ヲ招來シ、事變ノ今後ノ推移如何ニ依ツテハ我ガ國防上、產業上並ニ國民生活上多大ノ障礙ヲ惹起スル虞ガアルノデ、之ヲ未然ニ防止シ、時局ニ對處スル方針ヲ執ツタノデアル、第二ニ其措置トシテ船舶ヲ確保シ適正ナル運営ヲ爲スト共ニ、極端ナル營利主義ニ基ク運賃、傭船料ノ昂騰ヲ抑制シ、以テ重要物資ノ輸送、物價ノ調整及ビ我ガ對外航權ノ維持ニ遺憾ナキヲ期セントシ、又造船及ビ海員ニ付テモ、時

期セントシ、又造船及ビ海員ニ付テモ、時

期セントシ、又造船及ビ海員ニ付テモ、時

（牧山耕藏君登壇）

シコトヲ期シテ居ル次第アルト云フコト
デアリマシタ

次ニ委員ト政府トノ間ニ種々質疑應答ガ
重ネラレタノデアリマス、マダ委員會ノ速
記録ガ完了セズ、隨テ諸君ノ御手許へ參ッ
テ居ラヌノデアリマスガ、極メテ重要ナル
法案デアリマシテ、本法案ノ精神竝ニ其運
用ニ關シマシテハ、當業者ハ勿論、國民大衆
モ重大ナル關心ヲ有ツテ居ルノデアリマス、
特ニ本日ハ各派ノ申合セニ依リマシテ、本
會議ニ於ケル討論ヲ省略サレタノデアリマ
スガ、委員會ニ於ケル質問應答ノ大要ハ委
員長ヨリ報告スペシトノ御希望デアリマス
カラ、暫クノ間御清聽ヲ煩ハシタイト思フ
ノデアリマス

第一ニ海運業者トシテハ、現ニ政府ノ政
策ニ順應シ自治的統制ヲ行ヒ、相當ノ成績
ヲ擧ゲツ、アル現在ニ於テ、本法案ノ積極
的必要ガアルヤ否ヤト云フ質問ニ對シテ、
政府當局ヨリ事變前ニ於テモ船腹ガ不足デ
アツタノニ、更ニ事變勃發ニ依リ多量ノ船腹
ヲ要求スルニ至リ、其苦痛ハ事變前ヨリ著
シク増大シタ、幸ニ海運界ニ於ケル自主的
制ノ功績ハ多トセザルヲ得ナイノデアル
ガ、一方支那事變ハ何時マデ繼續スルカ、
又其事態ノ進展如何ト云フコトモ豫測ガ出
來ナイノデアル、海運ニ對スル重壓ガ一層
深刻ニナツタナラバ、其結果モ或ヘ弛緩ス
ルカモ知レナイ、是ニ於テ國家ガ其補強ヲ
爲シ、國防上、產業上、竝ニ國民生活上、
即チ國家全體ノ立場カラ、海運業ヲ適正ニ指
導統制スル必要アリト信ジ、此案ヲ提出シ
タ次第アルト云フ答辯ガアリマシタ

第二ニ本法ノ運用ニ關スル政府ノ見解如
何ト云フ 質問ニ對シテ、政府當局ヨリ是

ガ運用ニ方ツテハ所謂官僚獨善ヲ避ケ、
民意ヲ酌ミ、實情ニ即シ、公正妥當ナル
觀點ヨリ之ヲ處理スル考デアル、折角獲得
シタ對外航權ノ維持ニ付テモ遺憾ナキヲ期
セントス、殊ニ第七條「政府ハ運航業者、船

舶所有者又ハ造船業者ニ對シ運賃、船舶ノ
賃貸料(期間傭船料ヲ含ム)又ハ其ノ製造若ハ
賣買ノ價格ニ關シ必要ナル命令ヲ爲スコト
ヲ得」トアル如ク、運賃、傭船料ノ如キ重
要ナル問題ニ關シテハ、船舶管理委員會ノ
議ヲ經ルコトトシタトノ答辯デアリマシ
タ

第三ニ船舶管理委員會ノ組織權限如何、
又第五條「政府ハ運航業者ニ對シ外國諸港
路、就航區域又ハ運送スペキ人若ハ物ヲ指
定シテ航海ヲ命ズルコトヲ得」ト云フ規定
モ、右委員會ニ付議スル必要アリト思フガ
如何ト云フ質問ニ對シテ、政府當局ヨリ
省官吏、貴衆兩院議員、海運業者、造船業
者、貿易業者等ヲ以テ、此外必要ニ應ジ
臨時委員ヲ任命シ、又專門委員ヲ置キ専門
的事項ヲ調査セシメ、業界ノ實情ヲ注視
リマス

第五ニ罰則ニ付テ、法人ト然ラザルモノ
シ、權限ニ付テハ第七條ノ命令ヲ爲サント
シノ間ニ、一方ハ罰金刑ノミ、他方ハ體刑ト
テモ緊急ヲ要セザルモノハ成ベク之ヲ諸問
答辯デアリマシタ

第六ニ第三條「日本船舶ハ命令ヲ以テ定
ムモノノ除クノ外之ヲ日本船舶(關東州
ニ行ハルル命令ニ依ル日本船舶ヲ含ム)ヲ
所有スルコトヲ得ザル者ニ讓渡シ、貸渡シ
(期間傭船ヲ含ム)、擔保ニ供シ又ハ引渡サ
ントスルトキハ政府ノ許可ヲ受クベシ、前
項ノ規定ハ製造中ノ船舶ニ之ヲ準用スト」ト
此規定ハ許可事項トナツテ居ルノデアルガ、
事實ハ許可ヲシナイ、即チ禁止事項ト見ル
ベキモノデアルカ、又第八條規定ノ船舶順
位變更ノ場合如何トノ質問ニ對シ、政府當
局ハ第三條ハ大體禁止ノ趣旨デアル、又造
銳優秀ナル商船隊ノ整備ハ須要ノモノデア
ル、此方針ハ現下ノ狀態ニ於テモ尙ホ堅持
スペキデアリ、本年度ニ於テ約三百隻、約
五十萬噸ノ新船ガ建造サレル豫定デアリ、
現在註文中ノモノモ約百二十五萬噸アリ、
是モ一兩年中ニハ世ノ中ニ出テ來ルノデア
ルガ、非常ノ場合ニ特殊ノ古船ヲ輸入スル
コトハ已ムヲ得ナイト認メ、本法案中從來
ノ方針ノ緩和ヲ行ツテ居ル、從來ハ船齡五
年未滿、速力十三節半ノ條件ガアツタノデ
アリマスルガ、本法實施後ハ船齡十五六年未滿
ノ船舶モ輸入ヲ許可シ、尙ホ事變ノ進
展ニ伴ウテハ、ソレ以上ノ船齡ノモノモ輸
入ヲ許スト云フ方針デアルト云フ答辯デア
リマス

第七ニハ本法ニ依ル船舶輸入許可ノ條件
緩和ノ方針如何トノ質問ニ對シマシテ、政府
當局ヨリ輸入船舶ハ世界大戰中ノ粗製濫造ノ
持テ餘シモノハ困ルガ、船齡十五六年未滿
ノモノナラバ構ハヌト思フ、又時局進展如
何ニ依ツテハ、ソレ以上ノ船齡ノモノヲ許
可スルコトニナルカモ知レナイガ、ソレニ
ハ解體ノ條件ヲ附スルコトモアラン、併シ
從來ノ優秀船維持方針ニハ變リナイト云フ
答辯デアリマシタ

第八ニ今日船舶ハ世界的ニ缺乏シテ居ル
カラ、船舶ノ輸入ニ付テモ多クノ期待ヲ掛
ケラレヌト思フ、隨テ既存ノ船舶ト輸入ダ
ケデハ時局ノ急ニ應ジラレヌ、此際新造船
ノ大量急造ノ必要アリト思フ、政府ノ之ニ
ニ對シテ、政府當局ヨリ法人ノ役員ハ直接
對スル用意如何トノ質問ニ對シ、政府當局
ハ御趣旨全ク同感デアッテ、政府ニ於テモ
其方針ノ下ニ目下標準船型ノ研究中デア
リ、之ニ依リ一般造船業者トモ協議シ、其
目的達成ニ十分ノ力ヲ致シタイト云フ答辯

デアリマシタ

第九ノ軍事徵用ノ備船料、自動車代、其

他軍需品購入代金ハ、經濟界ノ現状ニ鑑ミ、停滯セシムルコトナク速急ニ支拂ハレベキモノデアルト思フガ如何トノ質問ニ對シ、政府ハ成ベク其手續ヲ執リタイノデアルガ、是ガ實行ニハ會計法規ヲ改メナケレバナラヌモノモアリ、成ベク御趣旨ニ副フヤウニ努メルト云フ答辯デアリマシタ

第十ニ内外地ニ於ケル海運行政ノ統一ハ、國家ノ大局ヨリ見テ極メテ喫緊ノ要事デアルガ、朝鮮、臺灣兩總督府ガ之ニ應ゼザル爲メ實現不可能ニ陥テ居ル、政府ハ時局ニ鑑ミ、此際速ニ統一斷行ノ意思ナキヤトノ質問ニ對シ、政府當局ハ、内外地ノ海運行政ヲ同一機關ノ運用内ニ置クコトハ、法制上研究ヲ要スルガ、本船舶管理法實施ニ付テハ、同一精神ヲ以テ運用シテ行クコトニ協定ガ成立ヲシテ居ルト云フ答辯デアリマシタ

第十一ニ我ガ日清汽船株式會社ノ所有船舶數隻ガ、過般支那黃浦江上ニ於テ擊沈セラレタノデアリマスガ、此會社ハ我國策遂行ニ基ク重大ナル使命ヲ持ツテ居ル會社デアル、此事態ニ對シ政府ノ處置如何、又其損害額ハ何程デアルカト云フ質問ニ對シ、政府當局ハ日清汽船會社ハ今回ノ事變ニ因リ、或ハ其所有船ヲ擊沈セラレ、或ハ倉庫其他ノ利權ヲ戰火ニ失シ、莫大ナル損害ヲ被レルガ、之ニ關シテハ事變後ニ於テ、對支賠償ノ問題モ生ズベク、又政府ニ對支賠償ノ問題モ生ズベク、又政府ニ於テモ、長江航權ノ復活維持ニ付テハ、萬全ヲ期スルノ要アルヲ以テ、將來同社ノ救濟等ニ關シ目下ソレハ、研究中デアル、又沈サレタル船舶ノ損害ハ、約千數百圓

ヲ算スル見込デアルト云フコトデアリマシタ

第十二ニ本法ガ非常時立法デアリ、政府

ニ對スル強力ナル權限ヲ付與スルモノナルニ依リ、其運用ニ多大ノ關係アル第十三條ノ臨時船舶管理委員會構成ニヘ、貴衆兩院議員ヲ多數選任スベシトノ質問ニ對シ、永井遞信大臣ハ之ニ對シ、其趣旨ハ十分ニ尊重スベシトノ聲明ヲ致シマシタ、更ニ同管理委員會委員中ニヘ、海員團體代表者ヲモ加ヘラレタキ旨ノ強キ希望ガアリマシタ

第十三ニハ本法案ノ附則中「本法ハ支那事變終了後一年内ニ之ヲ廢止スルモノトス」トノ規定中、事變終了ノ時期ニ付キ質シタル所、政府當局ハ、日支兩國間ニ停戰狀態ガ事實上成立シタル場合、例へバ兩國停戰協定ノ成立シタル場合、若クハ兩國關係ガ十分安心スペキ場合ノ如キ説明ガアリマシテ、其意義尙ホ徹底セザルモノガアリマシタ故ニ、本日重ネテ永井國務大臣ニ對シマシテ質問致シマシタ所、永井國務大臣ハ之ニ對シ勅裁ヲ仰ギ事變ノ終了ヲ定メラレマスガ、如何ナル場合ニ事變終了ノ勅裁ヲ仰グカト言ヒマスト、事變ヲ終結セシムル兩國ノ協定ガ成立シ、用兵ノ狀態モ略乎常ノ狀態ニ復シタリ認メル時テアリスト云フ答辯デアリマシタ、其他委員會ニ於テハ幾多ノ重要ナル質疑應答ガ行ハレマシタガ、是ハ全部速記録ニ譲リマス

臨時船舶管理法案 第二讀會(確定議) ○議長(小山松壽君) 別ニ御發議モアリマス、仍テ直チニ本案ノ第二讀會ヲ開キ、議案全部ヲ議題ト致シマス

○中山福壽君 直チニ本案ノ第二讀會ヲ開キ、第三讀會ヲ省略シテ、委員長ノ報告通り可決セラレンコトヲ望ミマス
○講長(小山松壽君) 中山君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕
○中山福壽君 直チニ本案ノ第二讀會ヲ開キマス、委員長ノ報告ヲ求メマス——委員長川崎克君

支那事變ニ關スル臨時軍事費支辨ノ爲公債發行ニ關スル法律案(政府提出)第一讀會ノ續(委員長報告)第一讀會ノ續(委員長報告)

○議長(小山松壽君) 御異議ナシト認メマス、仍テ直チニ本案ノ第二讀會ヲ開キ、議案全部ヲ議題ト致シマス
〔異議ナシト呼フ者アリ〕
○中山福壽君 直チニ本案ノ第二讀會ヲ開キマス、委員長ノ報告ヲ求メマス——委員長川崎克君

賛成ノ意見ヲ述べラレ、採決ノ結果滿場一致ヲ以テ可決致シマシタ、此段御報告ニ及

○議長(小山松壽君) 本案ノ第二讀會ヲ開キマス(拍手)

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(小山松壽君) 御異議ナシト認メマス、仍テ日程ハ變更セラレマシタ——支那事變ニ關スル臨時軍事費支辨ノ爲公債發行ニ關スル法律案、臨時軍事費特別會計法案、支那事變ノ爲從軍シタル軍人及軍屬ニ對スル租稅ノ減免、徵收猶豫等ニ關スル法律案、臨時資金調整法案、外國爲替管理法中改正法案、右五案ヲ一括シテ第一讀會ノ續ヲ開キマス、委員長ノ報告ヲ求メマス——委員長川崎克君

○議長(小山松壽君) 御異議ナシト認メマス、仍テ日程ハ變更セラレマシタ——支那事變ニ關スル臨時軍事費支辨ノ爲公債發行ニ關スル法律案(政府提出)第一讀會ノ續(委員長報告)第一讀會ノ續(委員長報告)第一讀會ノ續(委員長報告)第一讀會ノ續(委員長報告)

○議長(小山松壽君) 御異議ナシト認メマス、仍テ日程ハ變更セラレマシタ——支那事變ニ關スル臨時軍事費支辨ノ爲公債發行ニ關スル法律案(政府提出)第一讀會ノ續(委員長報告)第一讀會ノ續(委員長報告)第一讀會ノ續(委員長報告)

○議長(小山松壽君) 御異議ナシト認メマス、仍テ日程ハ變更セラレマシタ——支那事變ニ關スル臨時軍事費支辨ノ爲公債發行ニ關スル法律案(政府提出)第一讀會ノ續(委員長報告)第一讀會ノ續(委員長報告)第一讀會ノ續(委員長報告)

臨時船舶管理法案 第二讀會(確定議)
○議長(小山松壽君) 別ニ御發議モアリマス、仍テ直チニ本案ノ第二讀會ヲ開キ、議案全部ヲ議題ト致シマス
○中山福壽君 議事日程變更ノ緊急動議ヲ提出致シマス、即チ此際政府提出、支那事變ニ關スル臨時軍事費支辨ノ爲公債發行ニ關スル法律案(政府提出)第一讀會ノ續(委員長報告)第一讀會ノ續(委員長報告)第一讀會ノ續(委員長報告)

一
支那事變ニ關スル臨時軍事費支辨ノ爲公債發行ニ關スル法律案(政府提出)
右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也
昭和十二年九月七日

委員長 川崎 克

衆議院議長 小山松壽殿

報告書

一、臨時軍事費特別會計法案(政府提出)

右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致

候此段及報告候也

昭和十二年九月七日

委員長 川崎 克

衆議院議長小山松壽殿

報告書

一、支那事變ノ爲從軍シタル軍人及軍屬ニ

對スル租稅ノ減免、徵收猶豫等ニ關ス

ル法律案(政府提出)

右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致

候此段及報告候也

昭和十二年九月七日

委員長 川崎 克

衆議院議長小山松壽殿

報告書

一、臨時資金調整法案(政府提出)

右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致

候此段及報告候也

昭和十二年九月七日

委員長 川崎 克

衆議院議長小山松壽殿

報告書

一、政府ハ本法ノ重大性ニ鑑ミ之カ運用

ニ當リ民心ノ萎縮産業ノ衰退等國民經

濟ニ惡影響ヲ及ホサナルヤウ最善ノ注

意ヲ爲スト同時ニ現下ノ極端ニ梗塞セ

ル金融狀態ヲ打開スル爲迅速且適切ナ

ル方途ヲ講スヘシ

一、政府ハ本法ノ重要性ト勅令委任事項
ノ多キニ鑑ミ本法ニ依ル臨時資金調整
委員會ノ組織及委員ノ人選ニ付特ニ注

ヒマス

意シ且民意ヲ代表スル者並民間ノ學識
經驗ニ富メル者ヲ三分ノ二以上委員ト

シテ選定スヘシ

一、外國爲替管理法中改正法律案(政府提
出)

右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致

候此段及報告候也

昭和十二年九月七日

委員長 川崎 克

衆議院議長小山松壽殿

一、外國爲替管理法中改正法律案(政府提
出)

右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致

候此段及報告候也

昭和十二年九月七日

委員長 川崎 克

衆議院議長小山松壽殿

一、外國爲替管理法中改正法律案(政府提
出)

右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致

候此段及報告候也

昭和十二年九月七日

委員長 川崎 克

衆議院議長小山松壽殿

一、外國爲替管理法中改正法律案(政府提
出)

右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致

候此段及報告候也

昭和十二年九月七日

委員長 川崎 克

衆議院議長小山松壽殿

一、外國爲替管理法中改正法律案(政府提
出)

右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致

候此段及報告候也

昭和十二年九月七日

委員長 川崎 克

衆議院議長小山松壽殿

第一此資金調整法案ニ對シマシテ質疑應

答ノ中ニ、觀念的ニニツノ流レガアッタノ

デアリマス、一つハ臨時立法トシテ斯様ナ

何故ニ政府ハ左様ナ答辯ヲ致シタカ、之

ヲ何故ニハツキリシナカッタカト言ヘバ、政

常ニ恐怖ニ脅エテ居ルヤウナ場合ニ、斯様

ナ立法ヲ爲スコトハ甚ダ宜シクナイデハナ

イカ、斯ウ云フ立前デ御質問ニナラレタ方

ト、又反対ニサウデハナイ、政府ハ何故ニ

スウ云フ機會ニ統制ラシナイカ、思切ッタ

統制ラシタラドウカ、又資本家ノ鼻息ヲ窺

ノニ汲々トシテ、唯利潤經濟ノミニ墮シテ

居ルヤウナ從來ノ行キ方ト違フ角度カラ見

タ立法ヲセナケレバナラヌノニ、是デハ後

退ラシテ居ルデハナイカト云ヤウナ質問

ヲ先ヅ觀念トシテ爲サレタ方ガアッタノデ

アリマス、之ニ對シマシテ政府ノ答ハ、丁

度此兩方ノ主張ノ眞中ヲ行クモノデアルト

云フヤウナ意味ノ解釋ニ落ツルノデアリマ

ス、ソコデ此資金調整法案ノ中デ一番問題

トナリマスルモノハ、第二條ノ規定デアリ

マスル許可、認可ヲ受ケナケレバナラヌ所

ノ事業ノ種類、即チ新設、擴張、改良ヲ爲

ス所ノ仕事ニ對スル事業ノ種類ガ問題デア

ガ、特ニ此内デモ臨時資金調整法案ノ如キ

ハ、洵ニ重大ナ法律案デアリマシテ、今回

ノ支那事變ヲ中心ト致シマシテ、今度要求

サレテ居リマス臨時軍事費ノ運用ニモ重大

ニ當リ民心ノ萎縮産業ノ衰退等國民經

濟ニ惡影響ヲ及ホサナルヤウ最善ノ注

意ヲ爲スト同時ニ現下ノ極端ニ梗塞セ

ル金融狀態ヲ打開スル爲迅速且適切ナ

ル方途ヲ講スヘシ

チ事業ヲ許可スベキモノト許可スベカラザ

ルモノトノ區別ノ現レタ大要デアリマス、

何故ニ政府ハ左様ナ答辯ヲ致シタカ、之

ヲ何故ニハツキリシナカッタカト言ヘバ、政

府ノ之ニ對シマスル答辯ハ、本法ノ第十一

條ニ、本法ノ運用ニ關スル所ノ機構ヲ決定

スルニ當ツテヘ、官僚獨善ノ弊ニ墮スルト

云フヤウナ非難ヲ避ケタイ爲ニ、民間ノ有

力ナル當業者ヲ入レ、貴衆兩院ノ議員ヲ委

員ニ選ンデ、此委員會ニ於テ許可、不許可

ヲ爲スベキ所ノ基準ヲ決定スル、此基準ヲ

決定スルノハ委員會ノ權限ニ委セナケレバ

ナラヌガ爲ニ、豫メ許可、認可ヲ受クベキ

モノヲ明示シテ此委員會ヲ拘束スルガ如キ

コトハ避ケタイト云フ立前カラ、其腹案ヲ

出スコトヲ避ケタ譯デアッタノデアリマス、

此點ハ政府ノ答辯ニ依リ、各條ヲ逐ウテノ

質疑應答ニ依ツテ政府ノ意ノアル所ハ明瞭ニ

ナツタ譯デアリマス、此法案ノ根本ハ物資

及ビ資產ニ對スル需給ヲ滑カニスルト云フ

コトニアリ、又戰時經濟ノ體制ヲ維持スル

上ニ於テ戰時用品ノ供給ヲ潤澤ナラシメ

ル、斯ウ云フ所ニ趣旨ヲ置イテ居ルト云フ

コトハ、繰返シ太歲大臣ガ聲明ヲセラレタ

ノデアリマス、併ナガラ金融ノ方面ニ對

シテハ、成タケ自主的統制ニ委シテ、當

業者ノ團體ニ於テ自主的ニヤル方針ヲ執

ラス、之ニハ政府ハ成タケ干涉ヲシナイン

即チ第二條ノ精神ヲ體シテ左様ナ金融團體

ガ自主的統制ヲ爲スナラバ、之ニ委セタイ

ト云フコトガ即チ第三條ヲ設ケタ趣旨デア

ルト云フコトヲ答辯ヲ致サレタノデアリマ

ス、只今申上ゲマシタ事ニ依ツテ、此資金調

整法案ノ機構ト運用ノ目標トヘ、大體御諒

解ヲ願フコトガ出來ルト思ヒマス

堵テ斯様ナ立法ヲスル場合ニハ、戰時ノ場合、英米ニ於テモ特別ニ金融機關ヲ設ケテ居ルデハナイカ、政府ハ何故ニ左様ナ設ケ方ヲシナカツト云フ質問モアツノデアリマス、所ガ是ハ英米ニ於テ行ウタ例ヲ見レバ、良、不良、良イモノモ惡イモノモアル譯デハアルガ、政府ハサウ云フ方面ニ付テハ考ヘテ居ナイ譯デハナイガ、今日ノ所デハ取敢ヘズ之ヲ以テ適當トスルト云フコトデアツクノデアリマス、ソコデ興業銀行ヲシテ資金ノ運用ヲ滑カニスルガ爲ニ五億圓ノ債券發行ヲ認メル、之ニ對シテハ從來興業銀行ナルモノハ五億圓程度ノ融通ヲ爲シ得ルノデアリマス、更ニ五億圓ヲ増ス、更ニ五億圓ヲ増ス場合ニ於テハ、興業銀行ノ信用資力ヲ以テシテハ之ヲ行ヘヌカラ、今度發行スル五億圓ニ對シテハ、保證債務ノ意味デナク、政府ハ連帶責任ノ立場ニ於テ答辯ヲセラレマシタ、更ニ勸業銀行ノ方ノ勵キヲ見マスルト、勸業銀行ハ又二億圓ノ債券ヲ發行シ得ル、是ハ何ノ目的デアルカト言ヘバ、政府ノ答フル所ハ、一ツハ貯蓄ノ獎勵ニ向ケ一ツハ公債消化ノ勵キニ向ケル、此二ツノ意義カラ生レテ居ルト云フコトヲ政府ハ答辯ヲ致シマシタ

大體重要ナ點ハ只今御紹介ヲ申上ゲマシタヤウナ點デアリマスガ、堵テ此立法ヲ爲スニ當ツテ一番氣ノ付クコトハ、斯ウ云フ臨時立法ニハ期限ガナケレバナラヌノデアツ、茲ニ期限ガアル、先程松村君及ヒ牧山君カラ御紹介ニナリマシタ法案ニモ期限ガアルノデアリマスガ、此期限ノ解釋ニ付キマシテハ、各委員會共區々ニナツテ居ツタノデアリマス、

是ハ實ニ煩ハシイコトデアリ、不明瞭ハ宜シクナイカラ、是ハドウシテモ政府ノ解釋ヲ統一致シテ吳レト云フコトヲ私カラ政府ニ要求ヲ致シマシテ、サウシテ本日政府ノ譯ニナリマシタヤウナ意味、即チ事變ノ解説ヲ統一シタルモノガ、先程兩君カラ御述ベニナリマシタヤウナ意味デ——即チ事變ノ終了ト云フ解釋ヲ、松村君、牧山君ガ御朗讀ニナリマシタヤウナ意味ニ解釋ヲ一定シタノデアリマス、堵テ其事變ノ終了ヲ認識スルハ客觀的ナ事實——客觀的ナ事實ト云フノハ、兩國ノ間ニ協定ガ成ルトカ、或ハ用兵ノ狀態ガ或ル程度マデ平常ニ復スルト云フヤウナ客觀的ナ事實ガ出來タナラバ、茲ニ勅裁ヲ仰グト云フコトニナルノデアルガ、其勅裁ヲ仰グト云フコトヲ認定スルノハ誰カト言ヘバ政府デアル、政府ガ何時マデモ此認定ヲ怠リ——事實ヘ其處ニ現存シテ居ルニ拘ラズ、怠ルト云フヤウナコトガ萬々一アリトスルナラバ、議會ヘ議會ノ權能ニ基イテ合理的ナ處置ヲ執ラナケレバナラヌ場合ガ生ズルト思フ、之ニ對シテ大藏大臣ハ政府ヲ代表シテ如何ニ御考ニナルカト云フコトヲ問ウテ見マシタ所ガ、大藏大臣ハ、政府ハ左様ナ、茲ニ諷ツテ居ルヤウナ事態ガ生ジタ場合ハ、必ズソレハ勅裁ヲ仰グ積リデアルガ、若シ政府ト議會ガ見解ヲ異ニスル場合ガアルナラバ、議會ヘ議會ノ權能ニ於テ合理的ニオヤリニナルコトモ是ハ已ムヲ得ヌト云フ答辯デアツノデアリマス、是ト關聯致シマシテ、此事變ノ終了ト云フモト、臨時軍事費特別會計ニアリマシテハ本日豫算委員長ノ報告ニモアリマシタ如ク、日銀ニ於テ大體引受ケル消化力アリヤ否ヤト云フ問題ニ付テ質疑ガ行ハレマシタガ、即チ資金運用法案ヲ適用シ、資金ノ運用ヲ滑カニシテ、公債ノ消化ニ應ズルト付キマシテハ——公債消化ノ問題ニ付キマス

ソレカラ討論ニ入リマンテ、民政黨ノ前田房之助君、政友會ノ横川重次君、第一議員俱樂部ノ小池四郎君、社會大眾黨ノ河野密君、第二控室ノ中原謹司君、東方會ノ馬場元治君、此六君ヨリ大體原案ニ賛成ノ御演說ガアツクノデアリマスガ、之ニ對シテモ希望ノヤウナ御意見ヲ述ベラレタ方ガ二三アツクノデアリマス、其中デ前田房之助君カラ附帶決議トシテ御提出ニナリマシタコ

トヲ、朗讀ヲ致シマス

附帶決議

一 政府ハ本法ノ重大性ニ鑑ミ之カ運用

ニ當リ民心ノ萎縮産業ノ衰退等國民經

濟ニ惡影響ヲ及ホササルヤウ最善ノ注

意ヲ爲スト同時ニ現下ノ極端ニ梗塞セ

ル金融狀態ヲ打開スル爲迅速且適切ナ

ル方途ヲ講スヘシ

一 政府ハ本法ノ重要性ト勅令委任事項

ノ多キニ鑑ミ本法ニ依ル臨時資金調整

委員會ノ組織及委員ノ人選ニ付特ニ注

意シ且民意ヲ代表スル者並民間ノ學識

經驗ニ富メル者ヲ三分ノ二以上委員ト

シテ選定スヘシ

ト云フ附帶決議ヲ臨時資金調整法案ニ付シ、

他ノ四案ハ原案ノ通り、右五案ヲ滿場一致

可決致シタノデアリマス、此段御報告ヲ申

上ダマス(拍手)

○議長(小山松壽君) 五案ノ第二讀會ヲ開

クニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(小山松壽君) 御異議ナシト認メマ

ス、仍テ五案ノ第二讀會ヲ開クニ決シマシ

タ

○中山福藏君 直チニ五案ノ第二讀會ヲ開キ、第三讀會ヲ省略シテ委員長報告ノ通り可決セラレンコトヲ望ミマス

○議長(小山松壽君) 中山君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(小山松壽君) 御異議ナシト認メマス、仍テ直チニ五案ノ第二讀會ヲ開キ報告ノ通り可決セラレントラ望ミマス

全部ヲ議題ト致シマス

支那事變ニ關スル臨時軍事費支辨ノ爲公債發行ニ關スル法律案

臨時軍事費特別會計法案

第二讀會(確定議)

支那事變ノ爲從軍シタル軍人及軍屬ニ

對スル租稅ノ減免、徵收猶豫等ニ關スル法律案

臨時資金調整法案

第二讀會(確定議)

外國爲替管理法中改正法律案

第二讀會(確定議)

別ニ御發議モアリマセヌ、第三讀會ヲ省略シテ五案トモ委員長

報告通り可決確定致シマシタ

○議長(小山松壽君) 別ニ御發議モアリマセヌ、第三讀會ヲ省略シテ五案トモ委員長

報告通り可決確定致シマシタ

午後五時九分散會